

ATATP、TBENCHEXコマンド閾値データ作成ユーティリティ "PV.EXE"について

2005.11.07

1. 機能

閾値データ作成ユーティリティ"PV.EXE"はATATPのTBENCHEXコマンドで転送レートを計測する際の閾値データファイルを作成するツールである。又TBENCHEXコマンドで計測された計測データファイルのビューワーとしての機能も有する。

機能一覧

指定されたグラフデータに対してスムージング処理を施す事が出来る。

指定されたグラフデータに対してマイナスのオフセットを加算する事が出来る。

指定された複数のグラフデータを一つにマージする事が出来る。

TBENCHEXコマンドで取得したデータファイルよりグラフ表示をする事が出来る。

スムージング処理等を行い作成したグラフデータをファイルに保存する事が出来、そのファイルをTBENCHEXコマンドにて閾値データとして利用できる。



表示イメージ

2. インストール方法

PV.exe (プログラム本体)、Vsflex7L.ocx、Vsview6.ocx の3つのファイルを任意のフォルダにコピーして下さい。PV.exeをダブルクリックするとプログラムが起動します。

3. 操作説明



グラフ表示エリア

読み込んだデータファイルより転送レートを示すグラフを表示する。グラフはファイル、REDA/WERITE データ毎に色分けされ表示される。

操作ボタン

グラフファイルの読み込み、保存、読み込んだグラフデータに対して編集等を行う。



- ・ファイルを開く
データファイルを開く。複数の選択が可能である。
- ・スムージング
Average Cnt、Offset に入力された値を元に選択されたグラフデータに対して補正をかける。
- ・マージ
指定された複数のグラフをマージする。
- ・クリップボード
グラフ表示エリアに表示されている画像をクリップボードにコピーする。

- ・ ファイルを保存

指定されたファイルをファイルに保存する。

- ・ 色指定

グラフ表示エリアの背景色等を設定する。

読み込みデータ欄

現在、読み込んでいるグラフデータの一欄が表示される。

<input checked="" type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ8JRP.DAT	Write	HTS541040G9AT00	MPB2LDX2CJ8JRP	78140160				
<input checked="" type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ8JRP.DAT	Read	HTS541040G9AT00	MPB2LDX2CJ8JRP	78140160				
<input checked="" type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ91MP.DAT	Write	HTS541040G9AT00	MPB2LDX2CJ91MP	78140160				
<input checked="" type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ91MP.DAT	Read	HTS541040G9AT00	MPB2LDX2CJ91MP	78140160				

ファイル名、試験時の動作モード(Write/Read)、機種名、シリアル番号、最大 LBA が表示される。

又、ファイル名の前に付いているチェックボックスを ON/OFF する事により、グラフ表示の有無、操作ボタンによるグラフ編集の対象となるグラフの選択を行う事が出来る。

例)

<input checked="" type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ8JRP.DAT	Write	HTS
<input type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ8JRP.DAT	Read	HTS
<input type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ91MP.DAT	Write	HTS
<input checked="" type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ91MP.DAT	Read	HTS

データは 4 つ読み込んでいるがグラフ表示領域に表示されているグラフデータは 2 つ

この状態でスムージングボタンを押すとチェックされている 2 つのグラフデータに対してスムージング処理が施される。

この状態でマージボタンを押すと、この 2 つのグラフデータを一つにする。